情報ＢＯＸ

教育支援資金のご案内



【対象・条件】
〇世帯所得が一定基準内の世帯の学生
〇他制度の利用が優先となります
・日本学生支援機構
・母子父子寡婦福祉資金
・国の教育ローン（日本政策金融公庫） 等
〇対象となる学校
・学校教育法に定められた高等学校
（中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部および専修学校の高等課程を含む）
・高等専門学校
・短期大学（専修学校の専門課程含む）
・大学

【資金種類及び内容】

資金種類	教育支援費	就学支度費
資金使途	就学時に必要な学費等 (授業料、設備費、定期代等)	入学時に必要な支度費 (入学金、教科書・制服等)
上限額	【月　額】 高等学校 35,000 円以内 高等専門学校 60,000 円以内 短期大学 60,000 円以内 大学 65, 000 円以内	【入学時１回のみ】 500,000 円以内
貸付利子	無利子（延滞利子　年３％）	
据置期間	卒業後６ヶ月以内	
償還期限	10 年～20 年以内	

【ご注意】
貸付には審査があります。
納付期限等に間に合うようにお申込みください。

心あたたまるご寄付 ありがとうございました

（順不同）
・株式会社石繁小川石材店　様…100,000 円
・清水　直子　様……5,000 円

ひよこハウス子育てサロン



乳幼児とその保護者の方が一緒に遊べる「ひよこハウス子育てサロン」を開催しております。
毎回いろいろな催しがあり、保護者の方も交流を深めることができますので、お気軽にご参加ください。

▽直近３か月の日程
12 月 23 日（水）「クリスマス会」
１月 20 日（水）
２月 17 日（水）「ひなまつり会」

〇参加費
無料（イベント時のみ有料）

〇時間
AM9:45 ～ AM11:45

クリスマス会およびひなまつり会は事前申込が必要です。申込受付はクリスマス会が 12 月７日（月）、ひな祭り会が２月８日（月）からそれぞれ開始します。申込方法は、本会ホームページまたはお電話にてお申し込みください。

ホームページでは
年間の開催日程を公開しています。
スマートフォンで右のＱＲを読み取ってください。

各種相談日のご案内

【心配ごと相談】
開催場所：養老町老人福祉センター
開催日：毎月第２・第３水曜日
開催時間：13：00 ～ 16：00（予約不要）

12 月	９日（水）、16 日（水）
１月	13 日（水）、20 日（水）
２月	10 日（水）、17 日（水）

【法律相談】
場所場所：養老町老人福祉センター
開催日：毎月第３木曜日
開催時間：13：00 ～ 15：00（要予約、先着順）

12 月	17 日（木）
１月	21 日（木）
２月	18 日（木）

※電話または来所にてご予約下さい。

社会福祉法人　養老町社会福祉協議会
〒503-1314　岐阜県養老郡養老町高田 79 番地２（養老町老人福祉センター内）
TEL：（0584）34-3504　　FAX：（0584）34-0066
E-mail：info@yoro-shakyo.jp　URL：https://yoro-shakyo.com/
ホームページ

社協ようろう

2026 12 No.139

第 26 回養老町社会福祉大会を開催しました！

社会福祉大会は共同募金の配分を受けて開催しています







令和８年９月 26 日（土）に「第 26 回養老町社会福祉大会」を開催しました。
第１部の式典では、永年にわたり社会福祉の振興に貢献された方々への表彰や、地域福祉活動にご支援いただいた方々への感謝状の贈呈などを行いました。
第２部の記念講演では、日本赤十字社岐阜県支部の松浦正佳氏をお招きし「災害への備え～令和６年能登半島地震から学ぶ～」と題してご講演いただきました。
講演では、能登半島地震における日本赤十字社の対応が紹介されたほか、被災地での実際の活動経験をもとに、私たちが日頃から行っておくべき備えについてお話しいただきました。
災害が発生すると、これまでの日常が一変してしまいます。暮らしをつないでいくために「自分にしかできないことは自分で備え、自分だけではできないことは日頃から地域の人たちと協力して備える」。
この日々の備えこそが、いざという時にいのちを守る基盤となります。いつ起きるかわからない災害に備え、日頃から地域全体でつながり、支え合う基盤を築いていくことの大切さとともに、私たちの暮らしを支え続ける日本赤十字社の活動について深く学ぶ機会となりました。

第 26 回養老町社会福祉大会 被表彰者名簿

養老町社会福祉協議会会長表彰
（敬称略）

【社会福祉功労者】
大杉　ノブ子

養老町社会福祉協議会会長感謝
（順不同、敬称略）

【社会福祉協力者】
佐竹　春子
遠山　公子

【在宅寝たきり者の介護者】
高木　茂夫
近藤　幸夫

【多額寄附者】
川添　みつる

本誌は、スマホや PC でご覧頂けます
右の QR コードを読み込んでダウンロードしてください
または、養老町社会福祉協議会のホームページからもご覧いただけます

事業レポート　生活支援ボランティア養成講座（令和８年１０月２０日）



海津市高須地区社協「ちょボラ部」の皆さんによる実践発表



岐阜県社会福祉協議会：高慶美咲 氏



中部学院大学短期大学部 社会福祉学科：高野晃伸 教授

養老町中央公民館において「生活支援ボランティア養成講座」を開催しました。

講座では、生活支援ボランティアが必要とされている背景や、高齢者および認知症の方への関わり方を学ぶとともに、実際に生活支援ボランティアとして活動されている、海津市高須地区社会福祉協議会『ちょボラ部』の皆さまから、事例を交えた実践発表をしていただきました。

参加者からは、「活動内容がよくわかりました」という感想のほか、養老町にも同じような活動があるとよい、という声も寄せられました。

今後も「できる人が、できることを、できる範囲で」無理なく続けられる助け合いの仕組みづくりを皆さまと一緒に進めていきたいと思います。

注目　生活支援ボランティアってなんだろう？

高齢者世帯において「電球の交換が難しい」「ゴミ出しを少し手伝ってほしい」など、日常生活の中の「ちょっとした困りごと」を内容に応じた利用料で、地域のボランティアがお手伝いする仕組みです。



対象となる方

・養老町在住の 65 歳以上のひとり暮らしの方
・高齢者のみの世帯で、日常生活上の支援が必要と認められる方

▽お手伝いできる内容と利用料▽

100 円（10 分以内の作業）
〇可燃物（2 袋）のごみ出し
〇電球・蛍光灯の交換
〇植木・花の水やり
〇家電製品の電池交換　など

500 円（40 分以内の作業）
〇資源ごみ・不燃ごみの分別
〇身の回りの掃除
〇お話相手
〇暖房器具・扇風機の入替　など

※利用には登録が必要となりますので、まずはお気軽に本会までご相談ください。

事業レポート　養老公園の寄せ植えイベント（令和８年１０月８日）



生活介護事業所養老福祉作業所の利用者 13 名が養老公園の寄せ植えイベントに参加しました。

秋晴れの心地よい日差しの下、ぎふグリーン・ライフ推進委員の皆さまにご指導いただきながら、みんなで協力してエコプランター 27 個に花を植えました。参加した利用者からは「楽しかった！」と大満足の声が聞かれました。日頃の園芸作業の成果を発揮しながら、地域の方々とふれあい、社会の一員としての役割を実感する貴重な機会となりました。ご指導いただいた皆さま、ありがとうございました。

今回植えた花々は「養老公園もみじ祭り」の時期にきれいに花を咲かせる予定です。ぜひご覧ください。

養老町消防団第一分団・れんげの家合同防災訓練（令和８年１１月１日）





養老町消防団第一分団と共同生活援助事業所れんげの家の合同防災訓練を実施しました。

避難訓練では実際の災害を想定し、第一分団の皆さまの誘導の下、れんげの家から養老町役場まで安全に避難を行いました。避難完了後は、テントの設営や非常食（アルファ米）の炊き出し訓練などを実施しました。

今回の訓練を通して多くの課題を見つけることができ、大変有意義な機会となりました。

今後も地域の方々と協力しながら訓練を重ねることで、利用者が安全で安心した生活を送れるよう取り組んでいきます。

最後に、ご多忙の中訓練を見守っていただいた養老町長をはじめ、区長、消防団後援会の皆さま、保護者の皆さま、そして多大なるご協力をいただいた養老町消防団第一分団の皆さまに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

ふれあい・いきいきサロン紹介　サロン活動に興味を持たれた方は本会までご相談ください！

上方サロン会（養老地区）

開 催 日／毎月２回
開催場所／上方青少年集会所
実施内容／茶話会、創作活動、講習会など





魅力レポート！

地域の方々が集まり、お茶とお菓子を囲んでおしゃべりを楽しんだり、健康に関する情報交換をしたり。

お互いの体を気づかい合う、あたたかい雰囲気に満ちたサロンです。

訪問時は、茶話会をしながら公民館まつりに出展するダイヤモンドアートの進捗状況を報告し合っておられました。

赤い羽根共同募金

今年も 10 月 1 日から 12 月 31 日まで赤い羽根共同募金運動が展開されています。
皆さまからお寄せいただく募金は、岐阜県共同募金会を通じて、社会福祉施設、社会福祉団体、住民参加福祉サービス団体、地域福祉活動などへの配分に使わせていただきます。
皆さまのあたたかいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

街頭募金の実施により、10,479 円の募金をご協力いただきました。

令和８年 10 月 1 日（木）に養老町内のスーパー２店舗において、街頭募金を実施しました。募金にご協力いただいた皆さま、募金活動にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。





街頭募金活動協力者

・社協登録ボランティア
・養老町赤十字奉仕団

実施協力店舗（順不同、敬称略）

・スーパーマーケットバロー養老店
・スーパーセンターオークワ養老店

募金箱の設置により、23,314 円の募金をご協力いただきました。

今年度も募金運動にご協力いただいている養老町内の店舗および養老町役場に募金箱を設置させていただきました。設置にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

募金箱設置協力店舗等（順不同、敬称略）

・株式会社藤太　・酒清酒店　・トマトジュニア　・スーパーセンターオークワ養老店
・養老町役場（職域募金：養老町役場職員の皆さま）

福祉有償運送サービス事業を開始しました



福祉有償運送サービス事業とは、障がいのある人や要介護の人などを対象に、車いすに座ったままで乗れる福祉車両で送迎し、通院や外出を支援する有償のサービスです。養老町に住民登録があり、普段から車いすや歩行器を利用するため、公共交通機関（町オンデマンドバスを含む）での移動が困難な人が利用できます。
利用料金は走行距離などで異なりますが、おおむねタクシーの半額です。なお、サービスを利用するためには事前登録及び利用申込み（予約）が必要となります。サービスの利用方法や利用料金の詳細は、本会ホームページまたはお電話にてご確認ください。

利用料金（例）

①町内のクリニック（片道５㎞）までを利用する場合

基本料金	300 円
距離加算（５㎞）	600 円
回送料金	100 円
計	1,000 円

運行車両のご紹介

※全車車椅子に座ったまま乗車できます

①ハイゼットカーゴ　②タウンエースノア





社協会費は地域福祉を推進するうえでとても貴重な財源となっています。

令和８年度社協会費のお礼とご報告



今年度も町民のみなさまをはじめ、企業・団体の皆さまに社協会費にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
皆さまからいただきました会費は「福祉のまちづくり」を目指し、地域のさまざまな福祉事業を展開していく上で必要な財源として大切に活用させていただきます。
また、会費の納入にあたり、区長さんをはじめ関係役員の皆さまに格別のご協力をいただきましたことに対しまして、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

令和８年度社協会費実績
（令和８年 10 月 31 日現在）

一般会費	6,394,400 円 (7,993 世帯)
特別会費	756,000 円 (252 件)

会費の主な活用方法（一例）

１）支部社会福祉協議会の活動支援

町内 10 地区にある支部社会福祉協議会が行う、高齢者や子育て世代等を対象とした活動や地域の特色を生かした取り組みへの助成を行っています。

２）広報誌「社協ようろう」の発行

本会が行っている事業をはじめ、サロン活動および地域福祉活動を推進する取り組み、各種情報などを紹介する広報誌「社協ようろう」の発行に活用しています。

３）ボランティア活動の支援

ボランティア登録の相談や登録促進、ボランティア活動保険等に関する相談などボランティア活動への支援のほか、小中学生を対象としたボランティアスクールや町内の小中学校を対象とした福祉協力校への助成など、ボランティアの育成に活用しています。

４）ひとり暮らし高齢者見守りサービス

民生委員児童委員と連携をとりながら、ひとり暮らしの高齢者を地域で見守る支え合い活動に活用しています。

日常生活自立支援事業「生活支援員」として活躍してみませんか?

日常生活自立支援事業とは、判断能力に不安のある高齢の方、知的や精神に障がいのある方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用や金銭管理などを、ご本人との契約にもとづき支援します。
生活支援員は、利用者のお宅などを定期的に訪問し、お手伝いをしていただきます。

活動頻度
◯月１～４回程度
◯１回１時間～１時間半程度

活動報酬
◯１時間あたり　1,200 円

お手伝い内容
◯福祉サービスの利用に関する相談や助言
◯日常的なお金のやりくりに関する相談や助言
◯金融機関にて生活費の払戻、公共料金、家賃などの支払い
◯郵便物の内容確認
◯行政などへの必要な手続きの支援